

平成31年度鹿児島大学大学院農林水産学研究科（修士課程） 学生募集の計画概要（案） （一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜）

【注意】鹿児島大学大学院農学研究科（修士課程）及び鹿児島大学大学院水産学研究科（修士課程）では、平成31年4月より両研究科を統合し、「大学院農林水産学研究科（修士課程）」の設置を計画しています。

この学生募集の計画概要（案）は、大学設置・学校法人審議会による審査の結果、設置が認められた場合に実施を計画している入学者選抜等に関することをまとめたものです。

なお、これらは確定したものではなく変更があり得ます。設置が正式に認められた場合の入学者選抜等は、学生募集要項により実施しますので、出願等に当たっては、必ず学生募集要項で確認してください。

1. 入学試験日程

(1) 第1次募集（一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜）

事 項	日 時
出願資格審査申請	平成30年9月上旬
出 願 期 間	平成30年9月下旬～10月上旬
試 験 期 日	平成30年10月下旬～11月上旬
合 格 者 発 表	平成30年11月中旬

(2) 第2次募集（一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜）

事 項	日 時
出願資格審査申請	平成30年11月上旬
出 願 期 間	平成30年12月上旬
試 験 期 日	平成31年1月下旬
合 格 者 発 表	平成31年2月中旬

2. 募集人員

専攻名	入学定員	第1次募集			第2次募集		
		一般選抜	社会人特別選抜	外国人留学生特別選抜	一般選抜	社会人特別選抜	外国人留学生特別選抜
農林資源科学	39	35	若干人	若干人	4	若干人	若干人
食品創成科学	26	23	若干人	若干人	3	若干人	若干人
環境フィールド科学	16	14	若干人	若干人	2	若干人	若干人
水産資源科学	20	18	若干人	若干人	2	若干人	若干人

(注1) 社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜の募集人員は、一般選抜の募集人員に含む。

(注2) 第1次募集の合格者が募集人員に満たなかった場合は、第2次募集に含めて募集する。

3. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者で、かつ、選抜方法による要件に該当する者とします。

- (1) 大学を卒業した者及び平成 31 年 3 月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者(学位授与機構から学士の学位を授与された者) 及び平成 31 年 3 月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 31 年 3 月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 31 年 3 月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成 31 年 3 月までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程(修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 31 年 3 月までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣が指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
- (8) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成 31 年 3 月末において 22 歳に達する者（注 1）
- (9) 平成 31 年 3 月末において大学に 3 年以上在学し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科が認めた者（注 2）
- (10) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者

① 一般選抜 : 一般選抜に出願できる者は、出願資格を満たしている者

② 社会人特別選抜 : 社会人特別選抜に出願できる者は、出願資格を満たしている者で、次のいずれかに該当する者

ア. 2 年以上（平成 31 年 3 月 31 日までの間）教育・研究機関、官公庁、企業等（農林水産業、青年海外協力隊及び NPO の実績も含む）において志願する専攻等の教育研究分野に関連した現業に従事している者又は従事した者

イ. 本研究科において上記①に準ずるものとして認められた者

③ 外国人留学生特別選抜 : 外国籍を有する者（入学に支障のない在留資格を有する者又は取得見込みの者）

(注 1) 出願資格(8)における個別の出願資格審査とは、大学卒業資格を有していない者について、大学を卒業した者と同等以上の学力があるか審査を行うものです。これにより出願を希望する場合は個別の事前審査が必要です。

(注 2) 出願資格(9)における個別の出願資格審査は、一般選抜の第 2 次募集に係る出願時のみに適用します。

4. 出願資格審査

出願資格(8)(9)に該当する出願者は、事前に出願資格審査を行いますので、出願資格審査申請期間内に所定の手続きを行ってください。

5. 選抜方法

入学者の選抜は、次により実施します。なお、提出された出願書類は選抜の際の基礎資料とします。

- 一般選抜：筆記試験（英語，専門科目）及び面接試験により総合的に評価し，判定します。
- 社会人特別選抜：面接試験により総合的に評価し，判定します。
- 外国人留学生特別選抜：面接試験により総合的に評価し，判定します。

(1) 筆記試験

① 英語

本研究科の試験日に本研究科試験場で実施する TOEFL-ITP テスト (Level 1) により行います。

配点は、TOEFL-ITP の Section 2 (Structure and Written Expression) と Section 3 (Reading Comprehension) の各素点の合計を利用し、Section 1 (Listening Comprehension) は課しません。

(2) 専門科目

専門科目一覧（次頁参照）中の志望するコースの科目群から1科目を出願時に選択します。

ただし、第1次募集にあっては、大学在学中の学業成績が優秀であると認められた者は、専門科目を免除する制度があります。

(3) 面接試験

個人面接とし、口頭試問を含めて行います。

6. 合格者発表

合格者の発表は、農学部・共同獣医学部共通棟正面玄関及び水産学部4号館正面玄関に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者本人に合格通知書を郵送します。

また、鹿児島大学農学部ホームページ (<http://ace1.agri.kagoshima-u.ac.jp/>) にも掲載します。

なお、電話・メール等による合否の問い合わせには一切応じません。

専門科目一覧 ※印の科目は、大学が準備した電卓を貸与し、使用を認めることがあります。

専攻	コース	科目群	キーワード
農林資源科学	植物生産科学	作物学	光合成, 乾物生産, 起源, 形態, 生長と発育, 収量構成要素, 環境応答, ストレス耐性
		熱帯作物学	非生物ストレス, 嫌気応答, クロロフィル蛍光, 光合成, 植物機能性, 有用遺伝資源, 救荒作物, 不良環境, 遺伝子型・環境型交互作用, 植物ホルモン
		比較環境農学	乾燥地農業, 熱帯湿潤地域農業, 植物形態・生理, 植物の耐塩性・耐乾性, 沙漠化・地球温暖化防止, 環境修復, 新作物栽培技術開発
		作物生態学	乾物生産, 共生窒素固定, 作物収量, 生産環境, 相互作用
		植物育種学	遺伝変異の拡大, 選抜と固定, 生殖様式, 生殖隔離, DNA マーカー, 遺伝資源, 栽培化, 遺伝子, 染色体, 連鎖
		果樹園芸学	開花・結実, 果実成長・成熟, 収穫後生理, 繁殖, 栽培管理, 永年性・木本性, 環境, 品種・育種, 病害虫
		蔬菜園芸学	環境ストレス応答, 植物ホルモン, 植物間相互作用, シグナル伝達, 遺伝子発現, 遺伝資源, 遺伝的多様性
		観賞園芸学	花色, 開花生理, 遺伝育種, 組織培養, バイオテクノロジー, 二次代謝, 繁殖, 倍数性, 突然変異育種, 遺伝子解析
		害虫学	IPM, 天敵利用, 化学的防除, 物理的防除, 害虫
		植物栽培・機能学	栽培技術, 増収, 品質向上, 農作業, 植物成長調節物質, 生理活性, 有用成分
		土壌科学	土壌生態系, 物質循環, 土壌微生物, 植物共生微生物, 植物-微生物相互作用, 土壌の構造と機能
	植物栄養・肥料学	必須元素, 養分の吸収と移行(転流), 光合成, 窒素の同化, 窒素固定, イオウの代謝, 栄養診断, 施肥法, 化学肥料, 有機質資材	
	畜産科学	家畜繁殖学	繁殖・生殖, 精子・卵子形成, 受精, 初期発生, 着床・妊娠, 分娩, 発生工学, 人工繁殖
		家畜育種学	改良, 野生種, 在来種, 品種, 変異, DNA, 遺伝子発現
		家畜管理学	飼養管理, 環境, 行動, 飼料と草地, 衛生, 舎飼いと放牧, 施設
		家畜生体機構学	形態(マクロ・ミクロ), 組織, 器官, 解剖, 生体機能, 生産性
		栄養生化学・飼料化学	栄養生理, 栄養要求量, 体タンパク質・脂質代謝, 初期栄養, 腸内環境, 未利用・新規飼料資材, 肉質改変(食味と機能性)
		食肉科学	食肉, 肉質, 産肉性, おいしさ, 機能性成分, 熟成と調理法, 飼養方法, 品種と肉質, 代謝プログラミングと肉質, 食肉質とマーケティング
	森林科学	森林科学	森林計画学, 育林学, 森林政策学, 木質資源利用学, 森林保護学, 砂防・水文学, 森林教育学, 森林利用学
	食料農業経済学	農業経済学	農産物貿易, 食料問題, 経済発展と農業, 農産物の需要と供給, 土地問題, 産業政策, 地域政策, 農業環境問題
		農業市場学	流通の機能と組織, 価格形成, 取引, 市場対応, 効率化, 食の安全・安心
		農業経営学	経営部門, 企業形態, 生産費, 経営管理, 経営戦略, 多角化, 経営者, 経営資源, ビジネスモデル, サプライチェーン

専攻	コース	科目群	キーワード
食品創成科学	食品科学	食品分子機能学(農学系)	食品三次機能, 食品成分の機能, 食品とがん予防作用, 腸内細菌調整, 生活習慣病予防, 機能性食品
		食品化学(農学系)	機能性タンパク質, ペプチド, 卵白, 牛乳, 乳酸菌, 抗菌性タンパク質, ワクチン, 感染防御, 分子デザイン
		食品保蔵学(農学系)	収穫後農産物の生理, 呼吸, エチレン, 低温障害, 水分活性, 殺菌, フィルム包装, 鮮度, 色素成分
		食料環境システム学(農学系)	品質管理, 食の安全, 食品残渣, HACCP, メタン発酵, 電解水, 光学分析
		食品化学(水産学系)	食品成分の化学, 機能性成分, 食の安全, 天然有機化合物, 食品微生物
		食品保蔵学(水産学系) ※	魚肉タンパク質の特性, 水分活性, 鮮度, 低温貯蔵, 殺菌, 包材, ガス置換包装
		生物化学(水産学系)	生体分子の構造, 酵素, 糖質の代謝, 好氣的代謝, 脂質の代謝, 窒素の代謝
		分子生物学(水産学系)	DNA, RNA, 染色体, 遺伝子発現, 遺伝子工学の基礎
	先端生命科学	生物化学(農学系)	糖質の構造と機能, タンパク質の構造と機能, 脂質の構造と機能, ビタミン・ミネラルの構造と機能, 酵素反応, 遺伝子の構造と遺伝子発現, 生体成分の代謝と生合成 ※複数問の中から選択して解答する。
		食品化学(水産学系)	食品成分の化学, 機能性成分, 食の安全, 天然有機化合物, 食品微生物
		食品保蔵学(水産学系) ※	魚肉タンパク質の特性, 水分活性, 鮮度, 低温貯蔵, 殺菌, 包材, ガス置換包装
		生物化学(水産学系)	生体分子の構造, 酵素, 糖質の代謝, 好氣的代謝, 脂質の代謝, 窒素の代謝
		分子生物学(水産学系)	DNA, RNA, 染色体, 遺伝子発現, 遺伝子工学の基礎
焼酎発酵・微生物科学	焼酎発酵・微生物科学	焼酎製造学, 醸造微生物学, 応用分子微生物学, 植物病理学 ※複数問の中から選択して解答する。	
環境フィールド科学	生物環境科学	水圏生物学	魚類, 無脊椎動物, 水圏植物, 分類, 形態, 生態
	環境システム科学	生産環境工学 ※	水理学, 農業水利, 農地工学, 地盤工学, 農地保全, 農村環境整備
		環境システム学 ※	農業機械, 環境保全, 環境計測, 農業気象, 農業情報解析
		基礎数学・力学	数学内容: 三角関数, 指数関数, 対数関数, 複素数, ベクトル, 行列, 微分, 積分, 線形常微分方程式 力学内容: 運動の法則, 質点系の運動, 剛体のつりあい, 剛体の運動と重心, 浮力

専攻	コース	科目群	キーワード
水産資源科学	生物資源科学	漁具漁法学	漁具, 漁法, 漁獲過程, 資源の持続的利用, 漁業技術管理, 水生動物の感覚と行動
		資源生産工学	漁具設計の基礎 (漁具の成立条件を含む), 水産資源の調査・管理に関する電子工学, 水産音響学
		水産資源学	水産資源, 年齢と成長, 成熟と産卵, 分布と回遊, 加入と生残, 資源量推定, 乱獲
	増養殖学	水産増養殖学	増養殖, 餌料生物, 栄養要求, 栄養生理, 発生工学, 繁殖, 生殖細胞, 感染症, 免疫
	環境保全学	水質保全学	有害物質, 環境汚染, 生態毒性, 生物濃縮, 水質基準, 環境修復, 環境指標と基準値
		水圏環境微生物学	ウイルス, 細菌, 微細藻類, 有害有毒藻類ブルーム, 富栄養化, バイオレメディエーション, 水圏バイオマス
	流通・政策学	水産流通学	水産物流通, 水産物消費, 卸売市場, 価格, 需給
		水産政策学	漁業経営, 漁業権, 漁業協同組合, 資源管理型漁業, 地域活性化, 水産政策, 労働力

専攻・教育コースの内容

農林資源科学専攻

専攻	コース	指導教員	分野の内容
農林資源科学	植物生産科学	赤木 功(農) 池永 誠(農) 一谷 勝之(農) 遠城 道雄(農) 香西 直子(農) 境 雅夫(農) 坂上 潤一(農) 坂巻 祥孝(農) 志水 勝好(農) 清水 圭一(農) 下田代 智英(農) 角 明夫(農) 田浦 悟(遺伝子) 樗木 直也(農) 津田 勝男(農) 橋本 文雄(農) 朴 炳幸(農) 山本 雅史(農) 吉田 理一郎(農)	農作物・園芸作物の栽培，施肥，土壌診断，病虫害防除法，植物の遺伝的改良に関する高度な専門教育を行ない，それを生かして指導的立場で問題解決できる人材，地球温暖化等の環境の変化に起因する様々な農業生産上の問題に対して広い視野と国際性を持って取り組める人材を養成する。
	畜産科学	井尻 大地(農) 大久津 昌治(農) 大島 一郎(農) 大塚 彰(農) 岡本 新(農) 河邊 弘太郎(共通教育) 後藤 貴文(農) 下桐 猛(農) 高山 耕二(農) 中西 良孝(農) 三好 和睦(農)	高品質家畜の効率的かつ持続可能な生産管理と畜産物の高付加価値化・高度利用技術の開発に関する深い知識と実践的な技術を修得させる専門教育を行い，畜産の振興と発展，国際化等に関わる問題点抽出とその解決に際して，地域社会において中心的役割を果たせる人材を養成する。

専攻	コース	指導教員	分野の内容
農林資源科学	森林科学	井倉 洋二(農) 鶴川 信(農) 岡 勝(農) 奥山 洋一郎(農) 加治佐 剛(農) 地頭菌 隆(農) 寺岡 行雄(農) 寺本 行芳(農) 西野 吉彦(農) 畑 邦彦(農) 枚田 邦宏(農)	生物・生態学的側面からの森林の解明, 国土保全, 地域防災, 水資源涵養, 循環的な資源利用・再生産のための保護・管理計画, 生産システム・計測技術の高度化, 高機能性木質材料の開発, 森林・林業に関わる社会経済・政策, 林業再生, 山村振興に関する高度な専門教育を行い, 森林資源の持続的管理に取り組む人材を養成する。
	食料農業経済学	李 哉ヒョン(農) 坂井 教郎(農) 田代 正一(農) 豊 智行(農)	グローバル化が進む食料・農業・農村の問題について, 社会科学的な手法による専門的な教育を行い, 食料・農業問題, 地域振興およびアグリビジネスに関する高度な知識と実践力を備えた地域リーダー, 政策立案者, アグリビジネス従事者の人材を養成する。

食品創成科学専攻

専攻	コース	指導教員	分野の内容
食品創成科学	食品科学	イブラヒム・ヒッサム(農) 加藤 早苗(水) 紙谷 喜則(農) 上西 由翁(水) 侯 徳興(農) 坂尾 こず枝(農) 進藤 穰(水) 濱中 大介(農) 宮田 健(農) 渡部 由香(農)	地域食品素材が有するタンパク質, 脂質, 糖質の基本的性質をはじめとして, それらが有する栄養, 機能性成分と健康との関わりのみならず, 加工特性や保存性, 安全性に関する専門教育を行い, 食品関連分野および地域において指導的な立場で活躍できる人材を養成する。
	先端生命科学	安部 淳一(農) 岡本 繁久(農) 加治屋 勝子(農) 北原 兼文(農) 小松 正治(水) 塩崎 一弘(水) 花城 勲(農) MCMフェスターガード(農) 藤田 清貴(農) 南 雄二(農) 山田 章二(水)	先端的でかつ学際的な生命科学に関する知識と技術を修得し, 先端的な生命科学研究を遂行するための専門教育を行い, 地域生物資源のリスクとベネフィットの関係性を理解したうえで, その利活用ができる能力を有する人材を養成する。

専攻	コース	指導教員	分野の内容
食品創成科学	焼酎発酵・微生物科学	石橋 松二郎(農) 岩井 久(農) 奥津 果優(農) 高峯 和則(農) 玉置 尚徳(農) 鶴丸 博人(農) 中村 正幸(農) 二神 泰基(農) 吉崎 由美子(農)	微生物をはじめとした生物機能の利用に関する専門教育を行い、これらの知識と技術を身につけ、食に係る分野および地域産業として特色のある焼酎、発酵食品産業で活躍できる人材を養成する。

環境フィールド科学専攻

専攻	コース	指導教員	分野の内容
環境フィールド科学	生物環境科学	遠藤 光(水) 久米 元(水) 小針 統(水) 寺田 竜太(連大) 本村 浩之(博物館) 山本 智子(水)	黒潮の影響を強く受けた南西諸島と南九州周辺の環境特性及び生物に与える影響に関する科学的知識と高度な調査技術を身につけ、地域環境の監視、生物資源の活用と生物相の保全について実践的に取り組むことができる人材を養成する。
	環境システム科学	伊藤 祐二(農) 神田 英司(農) 重廣 律男(水) 芝山 道郎(農) 末吉 武志(農) 須本 祐史(水) 中村 啓彦(水) 西 隆一郎(水) 仁科 文子(水) 肥山 浩樹(農) 平 瑞樹(農) 梶井 和朗(農)	南西諸島と南九州周辺の陸域・海域に特有の気候・環境・災害に関する科学的知識を身につけ、それらの知識とフィールドデータセンシングやロボットなどの先進技術に基づき、地域環境の保全、地域資源の活用、農業生産基盤の整備、農業気象災害のリスク評価およびその軽減について実践的に取り組むことができる人材を養成する。

水産資源科学専攻

専攻	コース	指導教員	分野の内容
水産資源科学	生物資源科学	安樂 和彦(水) 石崎 宗周(水) 江幡 恵吾(水) 大富 潤(水) 土井 航(水) 西 隆昭(水) バスクス アーティル ミゲル (水) 山中 有一(水)	水産資源生物の持続的な開発への貢献を目指し、資源生物の分布や再生産に関わる生態、資源生物の行動メカニズムの理解と漁業技術への応用、選択的漁獲技術、漁労活動の省力・省エネ化、音響機器による資源計測・評価、フィールド調査法、データ分析法に関する専門教育を行う。水産資源生物や漁業技術に関わるグローバルな専門知識を備え、資源の持続的利用の実現に貢献できる人材を養成する。
	増養殖学	石川 学(水) 小谷 知也(水) 竹内 裕(水) 田角 聡志(水) 山本 淳(水) 横山 佐一郎(水)	増養殖は水産資源の持続的な維持増大に大きく貢献する手法である。増養殖学コースは、豊かな養殖漁場を持つ南九州海域及び陸水域を学びの場として、増養殖に必要な生殖技術、種苗生産、栄養・飼料、魚病・免疫に関する専門教育を学際的及び実践的な視点から実施する。これにより、国際的水準の知識と技術を修得し、国内外の増養殖産業における課題を解決できる、高度な専門性を備えた水産技術者を養成する。
	環境保全学	宇野 誠一(水) 奥西 将之(水) 國師 恵美子(水) 前田 広人(水) 吉川 毅(水)	水圏生物資源生産の場としての漁場環境の保全を目的として、化学物質による水圏環境の汚染と水圏資源生物や水圏生態系に対する影響評価、漁場の富栄養化と赤潮、これら諸問題の解決法に関する高度な専門的知識、現場調査法、高度機器を用いた汚染物質や生体高分子物質の分析法と関連するデータベースの利用法を教育し、水圏汚染環境の修復やその影響を受ける水圏生物資源生産・活用の中で活躍できる人材を養成する。
	流通・政策学	久賀 みず保(水) 佐久間 美明(水) 佐々木 貴文(水) 佐野 雅昭(水) 鳥居 享司(水)	「水産業が他産業では代替できない貴重な食料供給産業であり、国民経済上並びに南九州の地方創生を考える上で不可欠な存在である」との認識を基礎として、水産資源と漁場の合理的利用、水産業を核とする地域活性化、水産業の安定的発展と水産政策、水産物の流通と加工、水産物の消費とマーケティングに関する高度な専門教育を行う。流通・政策をデータに基づき分析する研究能力を持ち、水産振興による地域創生を実現するための流通モデル・経営モデル・政策モデルを開発することにより消費者ニーズに適合した水産物供給を支援することができる人材を養成する。

※ () は教員の所属学部等を示す(例:(農)は農学部,(水)は水産学部)。

※ 各指導教員の研究内容については鹿児島大学のホームページから「鹿児島大学研究者総覧」を参照。

URL:<http://ris.kuas.kagoshima-u.ac.jp/>